

花矢図書館だより



11
2022

おすすめ 新着図書

一般書

- 親が死ぬ前に、家族とやりたい10のこと
- 「天才ノート」を始めよう!
- ウルトラ図解 肝炎・肝硬変・肝がん
- 医師が教える ゆる漢方
- すごい平屋
- 超シルバー川柳 笑顔がいっぱい編
- ショートショート実験室 (田丸雅智)
- SLやまぐち号殺人事件 (西村京太郎)
- #真相をお話します (結城真一郎)
- Yuming Tribute Stories (小池真理子ほか) 他

児童書

- きみもできるか!?天才科学者からの挑戦状
- はじめてのこどもキッチン
- 中高生のスポーツハローワーク
- ワニのガルド (おーなり由子)
- おにのまつり (天川栄人)
- てのひら怪談こっちへおいで (朝宮運河//編)
- おふろのなかのジャングルたんけん(絵本)
- ぼくはひこうき (絵本)
- ムシてつ (絵本) 他

秋といえば・・・

何を思い浮かべましたか?人によってさまざまですが、秋といったら、そう、怪談です。

夏が去り、日を追うごとに寒くなる日々、だんだん早くなる日暮れ。賑やかだった虫の声も減り、もうすぐ冬がくる。そんなどこか気忙しい中に、ふっと去来する淋しさのような。そんな秋の空気と、怪談の相性といったら。

そんな、この季節でしか味わえない、怪談の楽しみをぜひ皆様にも。ということで今月のテーマ展示は“怪談”を特集します。お好みの怪談と出会えますように。もちろん、怪談はちょっと…という方向けの本もご用意します。皆様のご利用をお待ちしております。

今月のスタッフいちおし!

一般

『宮繕るかや怪異譚』小野不由美/著

ありふれた日常で起こる怪異。恐ろしいけれど、そこには積み重ねられてきた時間が存在する。人が住めばどうしたって疵がつく良い疵も、悪い疵も。尾端はそれを繕っていく、そこに住む人と怪異の折り合いがつくように。怖い話なのに、なぜかほっこりする。そんな不思議な怪談小説です。

児童

『てのひら怪談こっちへおいで』

てのひら怪談——それは、てのひらにおさまるほど小さな小さな怪談物語。

怪談が大好きな10人の書き手による、800字以内で書かれた50のこわい話やふしぎな話が、きみがページをめくるのを待っている。短いから、あっというまに読みおわる。でも、油断しちゃだめだよ。どれもこわい話ばかり。きみのお気に入りは何れかな?

お知らせコーナー

雑誌プレゼント

保存期間の終了した雑誌などを差し上げます。雑誌がなくなり次第終了となります。お早めにお越しください。*お一人さま5冊まで

期間: 11/1 (火) ~ 11/18 (金)

今日のテーマ展示

大人向け 「怪談好きによる怪談特集」

子ども向け 「おふろ」

花矢図書館定例

『おはなひ会』

11月9日(水)10:30~11:00

場所/花矢図書館

※延期や中止になる場合がございますので、予めご了承ください。

10/10(月)に、花矢図書館の蔵書点検を行いました。全資料 13,201 点のうち、新たに所在不明となった本はありませんでした。